



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3625 URL <https://www.techfirm-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7885
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,401	△29.8	37	△79.9	48	△75.5	5	△95.5
2023年6月期第2四半期	3,419	30.6	185	285.7	196	194.1	121	352.3

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 △16百万円 (—%) 2023年6月期第2四半期 114百万円 (304.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年6月期第2四半期	円 銭 0.76	円 銭 —
2023年6月期第2四半期	17.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年6月期第2四半期	百万円 3,907	百万円 2,117	% 54.2
2023年6月期	4,032	2,166	53.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 2,117百万円 2023年6月期 2,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	4.0	220	27.0	210	12.9	110	—	15.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	7,515,000株	2023年6月期	7,515,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	428,913株	2023年6月期	428,913株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	7,086,087株	2023年6月期2Q	7,086,120株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が一段と進み、サービス、インバウンド消費の回復により底堅く推移しましたが、欧米のインフレ長期化や中国での不動産不況による景気後退懸念の顕在化により、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ChatGPTに代表される生成AI技術やテクノロジーの急速な進化により、様々な業種で戦略の転換や新たな事業創出などIT投資需要の拡大が見込まれております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。また、創業以来、独立系のソフトウェア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化の活用によって事業の発展がより見込める産業にイノベーションを起こすことでITを通じた社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,401,017千円（前年同四半期比29.8%減）、営業利益は37,256千円（前年同四半期比79.9%減）、経常利益は48,152千円（前年同四半期比75.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,414千円（前年同四半期比95.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「農水産物輸出ソリューション」は化粧品、雑貨等の取扱い割合の増加や、海外消費者の反応や需要に関するデータの分析等、ITと最新の流通技術を組み合わせた独自の流通プラットフォームを展開していくことを明瞭にするため、セグメントの名称を「クロスボーダー流通プラットフォーム」に変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。前第2四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の名称により行っております。

(ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業においては、売上高は前年同四半期でみられた一部大型開発案件で検収時期が早まったことの影響に加え、計画変更を受けた開発体制見直しの影響により減収減益となりました。また、大幅な納期遅延が発生している大型の開発案件で、プロジェクト進捗のモニタリングや品質チェック等、早期安定化に向けて様々な手段を講じてまいりましたが、プロジェクトを進めていく上で顧客の要求仕様を充足するための開発費用が大幅に増加する見込みとなることが判明したため、想定し得る追加工数に相当する63,400千円を受注損失引当金として追加計上することといたしました。

一方、上記大型案件を除く開発案件では大きな不採算案件もなく、注力分野である先端技術でXR（クロスリアリティ）を活用した案件も獲得するなど、受注状況も概ね計画どおりに推移しております。Web3.0時代の到来により、リアルとデジタルを繋ぐサービスの重要性が高まる中で足元の引合いも増加しており、引き続き拡大傾向が続くものと考えております。今後も展示会の出展やプロトタイプ開発を通じた外部への情報発信により訴求力を高め、新規顧客の獲得強化を図ってまいります。

上記により、当第2四半期連結累計期間のICTソリューション事業の売上高は2,235,876千円（前年同四半期比30.4%減）、セグメント利益は321,586千円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

(クロスボーダー流通プラットフォーム事業)

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、ITと最新の流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームの展開を目指しております。

流通総額拡大へ向けた取り組みとしてスタートした海外販路開拓支援サービス「コネクタアジア」の取引社数は着実に増加しており、テストマーケティングから本格展開へ移行する企業を増やせるよう複合的なサポートに努めてまいります。また、顧客商材の体験・ショールームとしての機能を担う拠点として、2023年11月にシンガポール最大の繁華街、オーチャードロードに直営店舗をプレオープンしました。販売のほか、試食・試飲、インフルエンサーによるライブ配信、デジタルサイネージを活用したプロモーションなどのマーケティングも合わせて展開することで話題化、販売促進を狙い、流通商材のデータ化と集約、需要分析機能等、プラットフォームのシステム強化にも繋げてまいります。

上記により、当第2四半期連結累計期間のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は165,141千円（前年同四半期比19.6%減）、セグメント損失は29,953千円（前年同四半期はセグメント損失17,171千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ125,752千円減少し、3,445,750千円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が125,786千円増加したものの、現金及び預金が173,909千円、有価証券が100,000千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ530千円増加し、460,820千円となりました。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ507千円減少し、507千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ125,729千円減少し、3,907,079千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ79,090千円減少し、1,756,564千円となりました。この主な要因は、受注損失引当金が63,428千円増加したものの、損害補償損失引当金が130,100千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,389千円増加し、33,264千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ76,700千円減少し、1,789,828千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ49,028千円減少し、2,117,250千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払により利益剰余金が30,016千円、為替換算調整勘定が12,350千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では2023年8月10日の「2023年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320,739	2,146,829
受取手形、売掛金及び契約資産	670,951	796,738
有価証券	500,000	400,000
その他	176,557	199,010
貸倒引当金	△96,745	△96,828
流動資産合計	3,571,502	3,445,750
固定資産		
有形固定資産	27,524	28,279
無形固定資産	5,751	4,660
投資その他の資産		
その他	427,696	428,562
貸倒引当金	△682	△682
投資その他の資産合計	427,014	427,880
固定資産合計	460,290	460,820
繰延資産	1,015	507
資産合計	4,032,808	3,907,079
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,310	138,108
短期借入金	600,000	600,000
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	26,221	46,001
賞与引当金	99,001	100,434
製品保証引当金	36,900	30,600
受注損失引当金	—	63,428
損害補償損失引当金	130,100	—
その他	285,120	277,991
流動負債合計	1,835,654	1,756,564
固定負債		
長期借入金	2,265	1,551
資産除去債務	19,973	20,510
その他	8,636	11,203
固定負債合計	30,875	33,264
負債合計	1,866,529	1,789,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,494,271	1,496,866
利益剰余金	88,175	58,159
自己株式	△434,362	△434,362
株主資本合計	2,148,083	2,120,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,399	9,141
為替換算調整勘定	△203	△12,553
その他の包括利益累計額合計	18,195	△3,412
純資産合計	2,166,279	2,117,250
負債純資産合計	4,032,808	3,907,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,419,709	2,401,017
売上原価	2,578,687	1,727,894
売上総利益	841,021	673,123
販売費及び一般管理費	655,849	635,867
営業利益	185,171	37,256
営業外収益		
受取利息	510	493
助成金収入	1,114	80
為替差益	2,584	13,385
貸倒引当金戻入額	8,317	—
その他	1,278	1,207
営業外収益合計	13,806	15,167
営業外費用		
支払利息	1,009	2,596
支払手数料	891	1,027
社債発行費償却	553	507
その他	100	138
営業外費用合計	2,555	4,270
経常利益	196,422	48,152
特別損失		
固定資産除却損	—	92
減損損失	—	6,045
特別損失合計	—	6,138
税金等調整前四半期純利益	196,422	42,014
法人税等	74,800	36,600
四半期純利益	121,622	5,414
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,622	5,414

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	121,622	5,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,014	△9,258
為替換算調整勘定	△12,952	△12,350
その他の包括利益合計	△6,937	△21,608
四半期包括利益	114,684	△16,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,684	△16,194
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,214,300	205,408	3,419,709	—	3,419,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,214,300	205,408	3,419,709	—	3,419,709
セグメント利益又は損失 (△)	512,345	△17,171	495,173	△310,001	185,171

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△310,001千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,235,876	165,141	2,401,017	—	2,401,017
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,235,876	165,141	2,401,017	—	2,401,017
セグメント利益又は損失 (△)	321,586	△29,953	291,633	△254,377	37,256

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△254,377千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「農水産物輸出ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「クロスボーダー流通プラットフォーム」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載してまいります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「クロスボーダー流通プラットフォーム」事業において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6,045千円であります。